金融機関ＡＰＩ

「ＡＰＩ連携認証」
画面操作マニュアル

2023/6/13

ver 1.0

1. はじめに

本書は、後記スマートフォン向けアプリの利用に際して、当信用組合システムが表示する「ＡＰＩ連携認証画面」について説明するものです。

「ＡＰＩ連携認証画面」以外の画面や機能については、各アプリの仕様に準じます。

不明点についてはアプリのマニュアルやアプリ提供事業者の問合せ窓口にてご確認ください。

＜対象アプリ＞

No.	アプリ名称	アプリ提供事業者
1	しんくみアプリwithＣＲＥＣＯ	アイ・ティ・ リアライズ株式会社

2. ＡＰＩ連携認証とは

ＡＰＩ連携認証は、金融機関ＡＰＩを採用してサービスを提供するスマホアプリにおいて、初回利用時等に当信用組合がお客様の本人確認を行い、口座との関連付けを行うために行うものです。

ＡＰＩ連携認証は次の３段階で行なわれます。

① 口座情報（お取引店舗、口座番号、生年月日など）による確認

➡画面①、②

② 当信用組合にお届け頂いている電話番号からの架電(コール)による確認

➡画面③、④

③ キャッシュカード暗証番号による確認

➡画面⑤、⑥

※１．ＡＰＩ連携認証の画面は、スマホアプリ提供事業者ではなく、当信用組合システムが表示しています。

※２．ＡＰＩ連携認証はセキュリティの観点から、アプリ初回利用時以外にも定期的に行われます。

3. ご利用可能口座

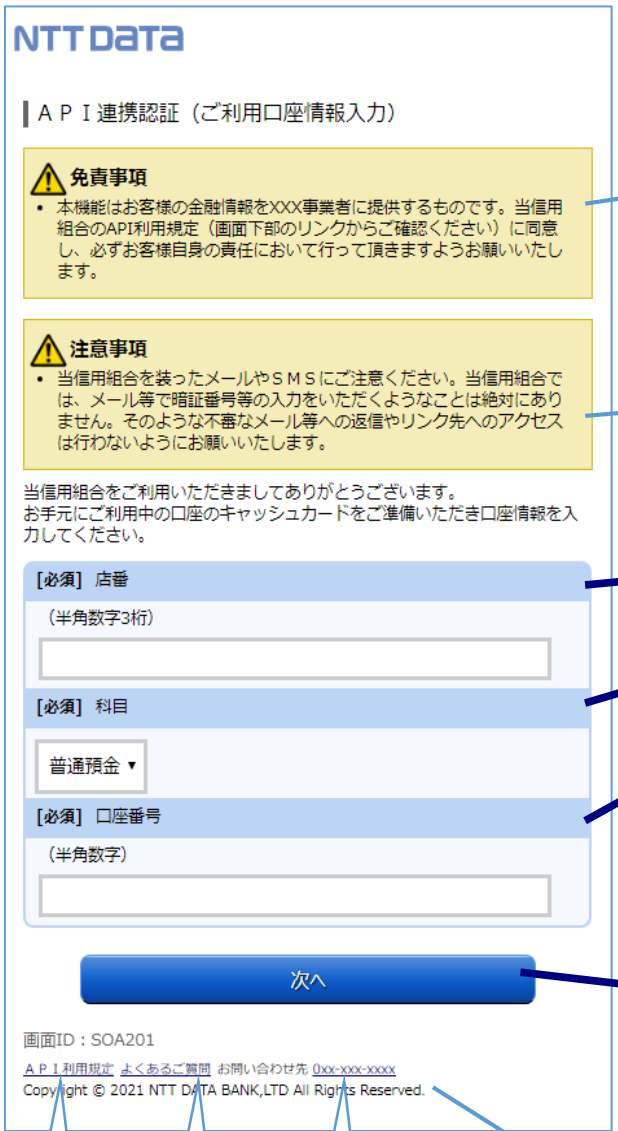
ＡＰＩ連携認証でご利用頂ける普通預金口座および貯蓄預金口座は、キャッシュカード発行口座となります。

ＡＰＩ連携認証の最終ステップで、キャッシュカード暗証番号をご入力頂きます。

4. 画面①【ご利用口座情報入力】1/2

本ページ以降、スマホでの画面を参考に説明を行います。

※. アプリによってはパソコンのブラウザに対応で同画面を表示することもあります。この場合、画面の縦横比率や画面のデザインに多少の差異が生じますが、入力項目数や操作の流れに大きな違いはありません。



免責事項を記載しています。
また、本画面最下段のリンク(ＡＰＩ利用規定)から、当信組ＨＰに掲載している利用規定を表示できますので、必ず内容をご確認ください。

注意事項を記載しています。
必ず内容をご確認ください。

認証を行う口座の店舗番号（店番）を３桁で入力します。
例）005、010

認証を行う口座の科目（普通預金もしくは貯蓄預金）を画面から選択します。

認証を行う口座の口座番号を入力します。
例）123、0000123、 1234567

すべての項目を入力・選択したのち「次へ」を選択し、次の画面(②)に進みます。

ア 当信組ＨＰに掲載している利用規定にリンク
イ 当信組ＨＰに掲載しているＡＰＩ連携認証画面説明（本マニュアル）にリンク
ウ 問合せ先電話番号

①②③→アイウ　に変更

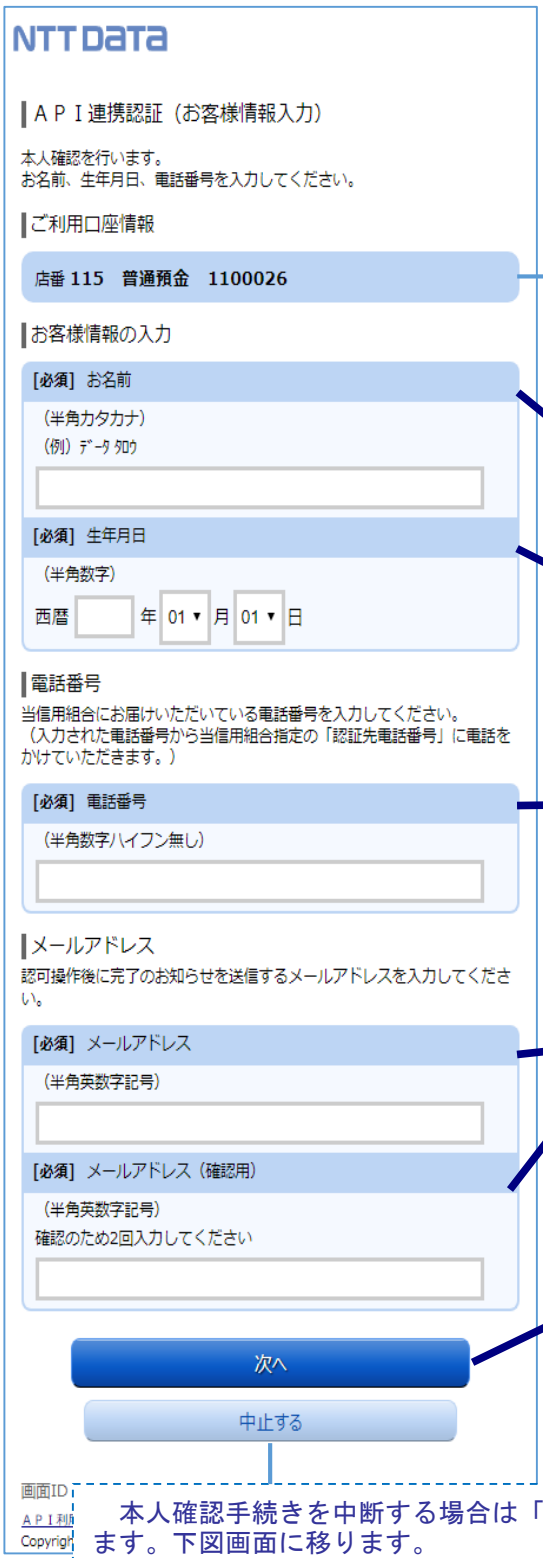
4. 画面①【ご利用口座情報入力】2/2

エラー事例

必須項目の入力がない状態で「次へ」を選択すると、下図のエラーとなります。

必須事項を入力のうえ、改めて「次へ」を選択してください。

5. 画面②【お客様情報入力】1/4



前画面で入力・選択した内容が表示されます。

お客様のお名前を半角カナで入力します。

※最大48文字まで。

お客様の生年月日の西暦を入力し、月日は選択します。

当信用組合にお届けいただいている電話番号を入力します。
（ハイフンは不要です。）

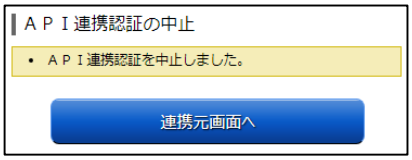
※10桁もしくは11桁で入力。

認証結果を受け取るメールアドレスを入力します（確認含め２か所に入力）。
ここで登録いただくメールアドレスは、認証結果を連絡する際に使用します。

※最大64文字まで。

すべての項目を入力・選択したのち「次へ」を選択します。
当信用組合システムに保有する口座情報との照合を行い、一致した場合に次の画面(③)に進みます。

本人確認手続きを中断する場合は「中止する」を選択します。下図画面に移ります。



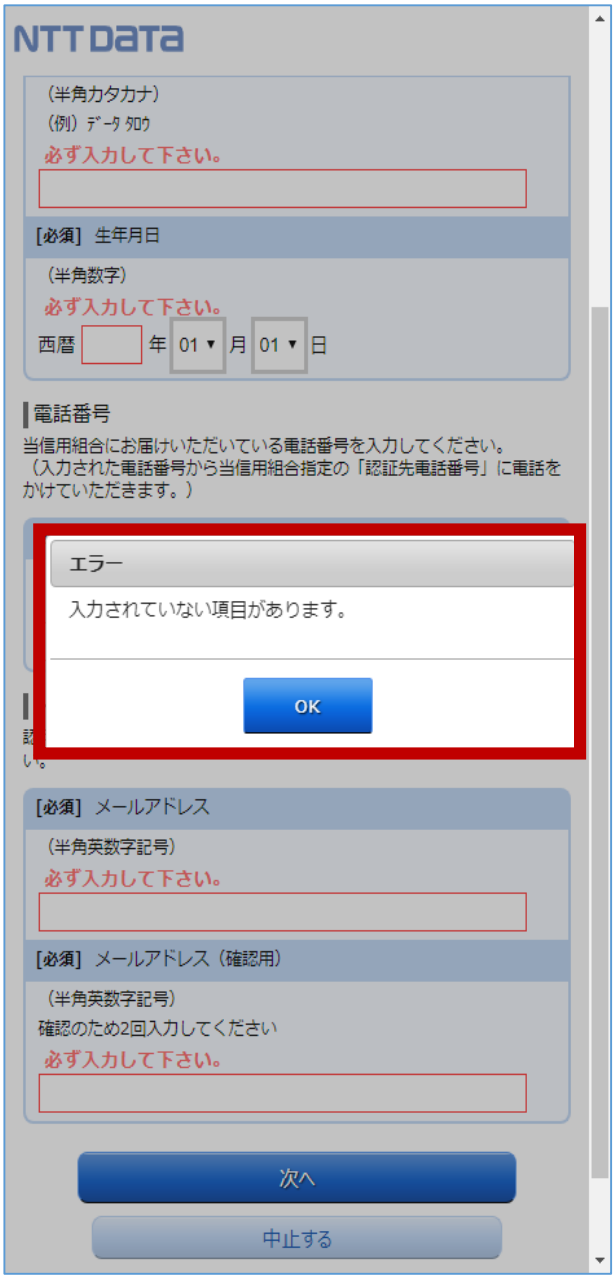
「連携元画面へ」を選択すると、アプリ画面に戻ります。

5. 画面②【お客様情報入力】2/4

エラー事例

必須項目の入力がない状態で「次へ」を選択すると、下図のエラーとなります。

必要事項を入力のうえ、改めて「次へ」を選択してください。



5. 画面②【お客様情報入力】3/4

エラー事例

入力いただいた内容と、当信用組合システムに保有する口座情報とした結果に、不一致となった場合は、下記エラーメッセージが表示されます。

№	エラーメッセージ	エラー内容	対処方法
1	ご指定の口座は、本サービスではお取り扱いできません。	・入力いただいた科目、口座番号が現在ご利用中の口座と一致しない。	・キャッシュカードや通帳を参照し、正しい科目、口座番号を入力する。
2	本人認証情報が誤っています。本人認証項目をご確認のうえ、再度入力して下さい。	・科目、口座番号は正しいが、その他の情報に誤りがある。	・当信用組合に届けている情報を正しく入力する。
3	お取扱いができなくなりました。詳しくは本サービスのお問合せ窓口へご照会下さい。	・上記№.２のエラーを規定回数繰り返したことでロックされ、当日中はＡＰＩ連携認証操作が行えなくなった状態。	・アカウントロックは翌日０時に自動解除されますので、その後改めて操作する。
4	ただ今お取扱いできません。詳しくは本サービスのお問合せ窓口へご照会下さい。 理由コードはB84です。	・アカウントロック（上記№.３）された状態で、ＡＰＩ連携認証を行った。	

5. 画面②【お客様情報入力】4/4

エラー事例

前記のほか、以下の事由でもエラーとなる可能性があります。

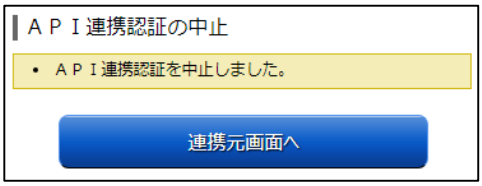
№	エラーメッセージ	エラー内容	対処方法
1	ただ今の時間はサービスを行っておりません。 ご了承下さい。	・当信用組合システムは以下がサービス時間外となります。 ◆第２、第４日曜日前日の２３：５０～７：００（定期的なシステム休止時間です） ◆毎日０時から１分程度 ◆毎日４時から数分程度	・左記時間を避けて、改めて操作する。
2	ただ今受付が混雑しておりますので、しばらくしてからご利用下さい。	・金融機関ＡＰＩ対象アプリの取引が集中している。	・しばらくしてから、改めて操作する。
3	調整のため連絡ができなくなりました。 なお、お急ぎの場合は本サービスのお問合せ窓口へご照会下さい。	・システムエラーです。	・しばらくしてから、改めて操作し、それでも改善しない場合は、お問合せ窓口へご照会下さい。
4	ご指定のサービスはただ今お取扱いできません。 なお、お急ぎの場合は本サービスのお問合せ窓口へご照会下さい。		

6. 画面③【電話番号の確認】1/1

「お客様情報登録」の画面で指定した電話番号が画面に表示されます。
（下４桁以外は＊でマスキングされています）

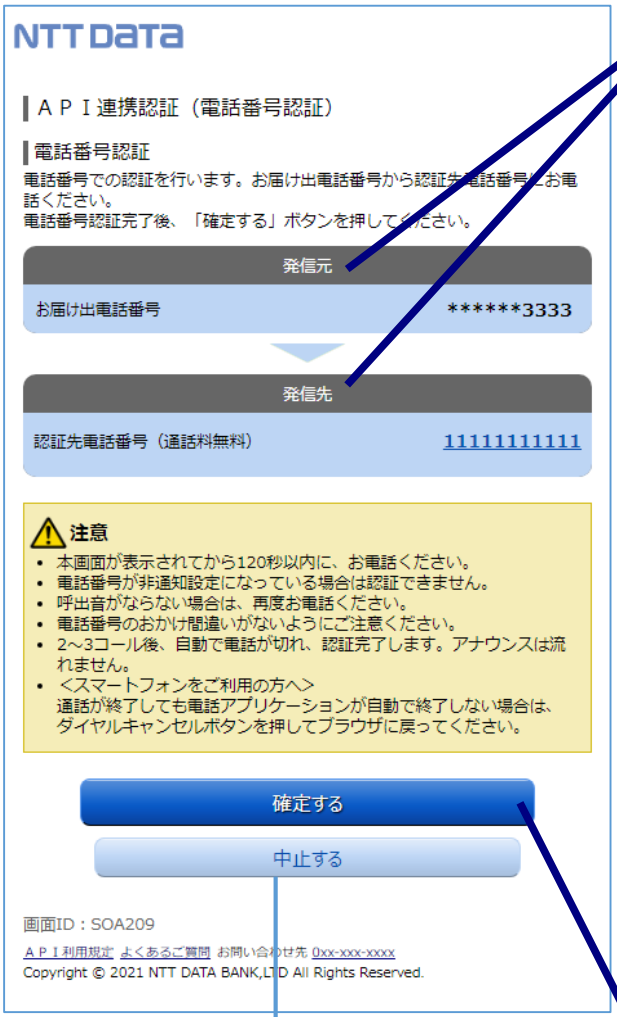
次の画面（④）で、この電話番号から架電（コール）を行っていただくことになりますので、内容を確認のうえ「電話番号の決定」を選択します。

本人確認手続きを中断する場合は「中止する」を選択します。下図画面に移ります。



「連携元画面へ」を選択すると、アプリ画面に戻ります。

7. 画面④【電話番号認証】1/2



「発信元」の電話番号（前画面で確認した番号です）から、「発信先」 の電話番号(注)に、この画面が表示されてから**１２０秒以内に架電してください**。

・発信元電話番号に該当するスマートフォンで本操作を行っている場合
→ 「発信先」の電話番号を選択(タップ)することで架電が始まります。

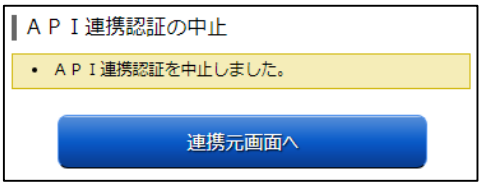
・上記以外の場合
→ **この画面を表示したまま**にして、発信元電話番号に該当する固定電話やスマートフォンから発信先電話番号へ架電してください。

電話を掛け、認証システムに接続されると数コール後に自動切断されます。

※１．音声ガイダンスはありません。
※２．本架電での通話料金は発生しません。
※３．非通知での架電では認証できません。
非通知設定を解除していただくか、架電時に「186」をつけてください。

架電が完了したら「確定する」を選択します。
次の画面(⑤)へ進みます。

本人確認手続きを中断する場合は「中止する」を選択します。下図画面に移ります。



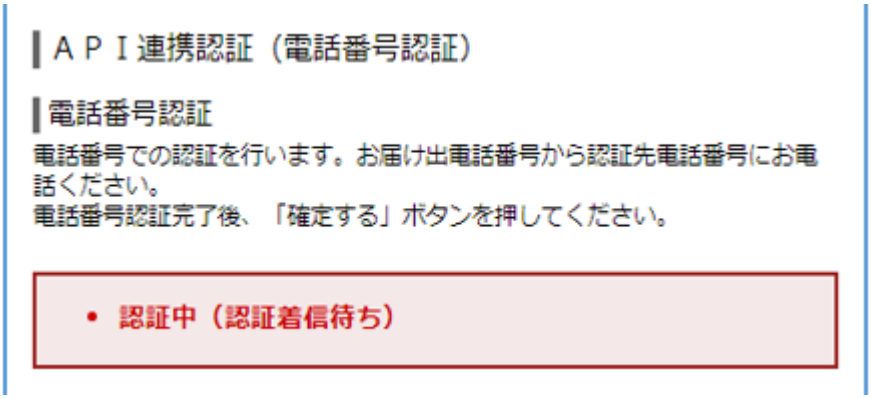
「連携元画面へ」を選択すると、アプリ画面に戻ります。

注．発信先の電話番号への架電は、認証システムに繋がります。認証システムの電話番号は数種あり、操作の都度、ランダムに選定されます。

7. 画面④【電話番号認証】2/2

エラー事例

架電する前に「確定する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。
架電したのちに、改めて「確定する」を選択してください。



・１２０秒経過後の架電
・１２０秒経過後の「確定する」ボタン選択
　は無効となります。

ＡＰＩ連携認証の最初に戻って操作してください。

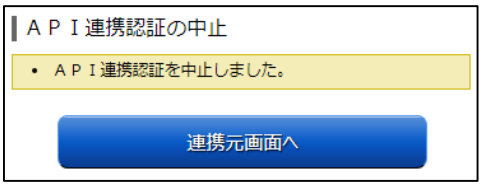
本アプリを操作しているスマートフォン以外の電話から架電する際に、誤って本アプリを終了してしまった場合は、再度アプリを立ち上げて最初から操作をし直してください。

8. 画面⑤【キャッシュカード暗証番号認証】1/2

「３. ご利用可能口座」を参考に、必要な暗証番号を入力します。

入力後「次へ」を選択します。
次の画面（⑥）へ進みます。

本人確認手続きを中断する場合は「中止する」を選択します。下図画面に移ります。



「連携元画面へ」を選択すると、アプリ画面に戻ります。

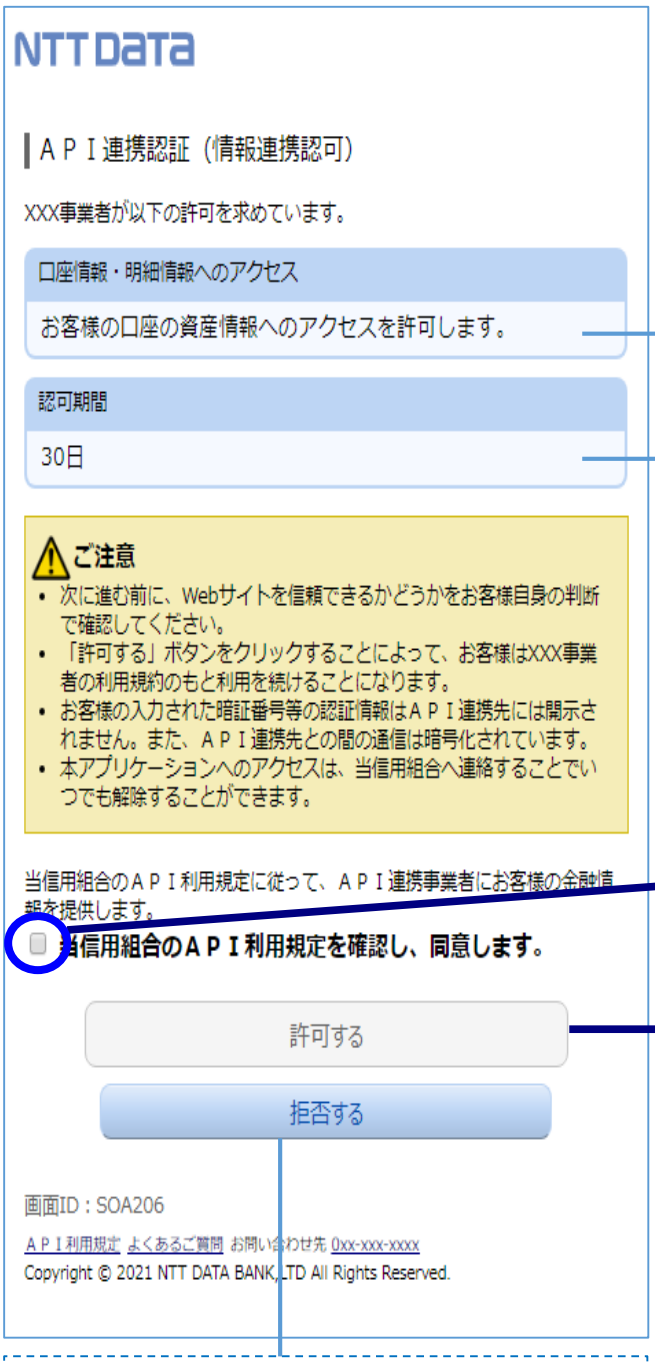
8. 画面⑤【キャッシュカード暗証番号認証】2/2

エラー事例

暗証番号が誤っていると、以下のメッセージが表示されます。
正しい暗証番号を入力したのちに、改めて「次へ」を選択してください。

本画面で発生するエラーは、「②【お客様情報入力】」と同様です。
エラーメッセージごとの内容や対応方法は、そちらのページでご確認ください。

9. 画面⑥【情報連携認可】1/1



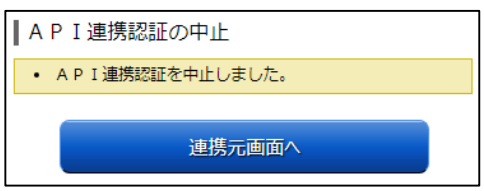
アプリからアクセスする情報を表示しています。ご確認ください。

ＡＰＩ連携認証の有効期間を表示しています。
本期間内は、ＡＰＩ連携認証することなくアプリがご利用いただけます。
本期間経過後は、再度、ＡＰＩ連携認証が必要となります。

ＡＰＩ利用規定の内容に同意する場合は、チェックします（レ点を付ける）。

上記チェック後「許可する」を選択します。

本人確認手続きを中断する場合は「拒否する」を選択します。下図画面に移ります。



「連携元画面へ」を選択すると、アプリ画面に戻ります。

10. よくある質問 1/2

１．認証前

（Ｑ１）信用組合に届け出した電話番号がどれだか分からない（忘れた）。
☞ お口座のある店舗にお問い合わせください。

２．認証完了後

（Ｑ１）ＡＰＩ連携認証で、暗証番号を複数回間違えてロックされてしまった。
ＡＴＭからの出金取引なども制限されてしまうのか。
☞ ロックされるのはＡＰＩ連携認証だけです。
その他のお取引には制限はかかりません。

（Ｑ２）本人認証情報を複数回誤り「お取扱いができなくなりました。」というメッセージが出力した。
☞ 本人認証情報を複数回誤りますと一時的に閉塞状態となります。
閉塞状態は翌日０時に解除されます。

（Ｑ３）認証操作が完了したがメールが届かない。
☞ スマートフォンのメール受信設定等にて以下のドメインからの受信ができるよう設定をお願い致します。
【@webcenter.anser.or.jp】

（Ｑ４）・誤ったカナ氏名で登録してしまったので修正したい。
・氏名が変わったので変更したい。
☞ ＡＰＩ連携認証時にご登録いただいた氏名（カナ）は、認証操作時の操作ログに記録するためだけのものですので、認証完了後は修正等する必要はありません。

（Ｑ５）・誤ったメールアドレスで登録してしまったので修正したい。
・メールアドレスが変わったので変更したい。
☞ ＡＰＩ連携認証時にご登録いただいたメールアドレスは、認証操作完了後の通知メールを送信するめだけのものですので、認証完了後は修正等する必要はありません。

10. よくある質問 2/2

３．サービスについて

（Ｑ１）API連携認証がサービス時間外となる時間を確認したい
☞ 以下の時間についてはサービス時間外となります。
①毎日0時から1分程度
②毎日4時から数分程度
③毎月第1および第3月曜日の2:00～6:00
④毎月第2および第4日曜日の前日23:50～翌7:00
⑤1月1日～3日の0:00～8:00、19:00～24:00
⑥その他システムメンテナンスの場合

（Ｑ２）取引明細で照会できる取引日の範囲は。
☞ 当信用組合システムでは約３か月分の取引明細を保有していますので、その範囲の中で確認が可能です。

（Ｑ３）アプリで一度照会した（取込んだ）取引明細はいつまで見れるのか。
☞ 各アプリの仕様によります。
スマホアプリ提供事業者にご確認ください。

（Ｑ４）これまで本アプリの認証で使っていた口座を別の店舗に移動（移管）した。どうすればよいか。
例）いままで　011店舗　口座番号1111111
現　　在　022店舗　口座番号2222222

☞ 口座の移管後は、旧店舗・旧口座番号（011-1111111）でのアプリ利用（情報更新、ＡＰＩ連携認証）は不可となります。
アプリを継続して利用する場合は、新店舗・新口座番号（022-2222222）で、ＡＰＩ連携認証を行う必要があります。
なお、旧店舗・旧口座番号で取得していた取引情報等の扱いは、各アプリの仕様によります。

10. よくある質問 2/2

４．その他

（Ｑ１）アプリをアンインストールした。アプリ事業者と口座の連携は即時に解除されるのか。

☞ 誤ってアンインストールした場合などを考慮し、一定期間は連携が継続されます。

（Ｑ２）スマートフォンの機種変更をする（した）。どうすればよいか。

☞ 各アプリによって引き継ぎ操作が異なります。
スマホアプリ提供事業者にご確認ください。

11. お問い合わせ先

信用組合広島商銀　業務部

電話番号　　：０８２－２４４－３１５２

Ｅメールアドレス：zimu@shogin.com

※平日の午前９時～１７時の対応となります。